戸田市　施策評価シート

作成日	令和 2年 6月25日	作成者名	秋元　幸子	評価者名	久川　理恵

１．施策の位置づけ　＜PLAN＞

基本目標	02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	中心となる課	福祉部・福祉総務課
分　　野	03 参加型地域福祉	関係課	福祉部・福祉保健センター
施　　策	19 地域福祉意識の醸成と活動の促進		
施策の目的	市民の誰もが地域社会の中でいきいきと生活できるよう、共助の精神に基づく地域福祉活動を広め、ボランティアの育成と支援により、助力を必要としている市民が多様な福祉サービスを地域で受けることができるようにします。		

２．施策の主な取り組み　＜DO＞

取り組み①	地域福祉推進事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

３．施策の指標における成果（主な指標）＜CHECK＞

指標名	指標の説明（算定式）	単位	目標値	達成値					
				Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０	Ｒ１	Ｒ２
見守りネットワーク事業者締結数	戸田市と見守りネットワークの協定を締結した事業者の数	機関	12	7	7	7	8	8	
ボランティア団体数	社会福祉協議会ボランティア登録団体数	団体	58	53	55	56	54	56	
その他施策の取組事項に係る成果									

４．施策の展開　＜ACTION＞

課題	地域福祉のニーズが多様化している状況下において、地域課題の解決には市民による相互の助け合いが重要であることから、地域福祉に対する意識啓発を図り、参加型地域福祉を推進していく必要がある。 また、誰もが安心して福祉に関する複合的な相談をできるように、福祉総合相談窓口の安定的な運用が求められている。	対応策	第４期地域福祉計画に基づき、地域福祉の担い手の発掘・育成は、社会福祉協議会との連携を強化していくとともに、各地域で実施している支部活動や地域交流のイベントを通じて幅広い市民に対し、地域福祉の意識啓発や活動参加のきっかけづくりを行っていく。 また、福祉的な支援を必要とする市民に対し、令和２年度に開設した福祉総合相談窓口の周知を図り、関係機関と連携し、複合的な課題を抱えている市民の問題解決を図っていく。

○結果と今後の方向性　（シート作成次長記入）

進捗状況（Ａ躍進中、Ｂ予定通り、Ｃ遅れ気味） **B**	説　明（総評）	見守りネットワークの協定については、広範囲に対応できる事業者とすでに締結しているところであるが、今後も市が締結する包括協定等の中に、見守りに関する内容を盛り込んでいく。ボランティア登録団体についても、一定数は登録されており、各団体の活動の後方支援も行われている。目標値に近づきつつあるため、おおむね予定通りの進捗である。
今後の方向性（人員/予算）（↑増加、→維持、↓削減） →	説　明（人員/予算）	社会福祉協議会と連携し、新たな地域福祉活動の担い手の掘り起こしを検討していく。助成金については、事業内容や市との役割を整理し、適正な経費計上を基に助成をしていく。 また、福祉総合相談窓口については、引き続き周知を重ね、複合的な課題を抱えている市民の問題解決を図っていく。

（評価者コメント）

地域の問題を自身の問題として考え、課題の解決や支え合いのしくみを住民自身が主体となって作っていけるよう啓発し、支援をしていく。特に、社会福祉協議会の役割は重要であるので、しっかりと連携・協力していく。
また、福祉総合相談窓口を広く市民に周知し、複合的な課題を抱えている市民の問題解決を図っていく。

戸田市　施策評価シート

作成日	令和 2年 6月25日	作成者名	秋元　幸子	評価者名	久川　理恵

５．事務事業の検討　【一般会計】

（単位：千円）

大事業	中事業	事務事業名 事業コード 事業内容	事業区分	事務事業評価の結果 R1決算額 R2予算額 R3計画額	事業費 うち一般財源 人件費	事業の方向性	実施計画候補	評価結果 施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性	★事務事業の方向性 事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度	コメント	R3予算額	事業費 うち一般財源
02	社会福祉総務事業　（福祉総務課）																
	91	福祉総務事務費 01 03 01 01 02 91 ・日本赤十字社の支援のため、会費募集の協力、災害義援	任意	1,165 1,463 1,463 1,432 2,876		4		B	B	B	B	4		B	日本赤十字社と連携し事業を継続する。 ※「地域福祉推進事業」へ名称変更予定	0	0
	92	福祉団体支援事業 01 03 01 01 02 92 ・社会福祉協議会への助成。 ・戸田市遺族会の活動及び相	義務	93,277 97,101 97,101 97,101 6,506		8		B	B	A	B	8		終	社協は地域に不可欠であり、引き続き支援を行う。 ※「地域福祉推進事業」へ統合予定	0	0
	93	外国人等生活支援事業 01 03 01 01 02 93 ・中国残留邦人等地域生活支援事業への参加者に対して、	任意	296 402 402 102 822		4		B	A	A	B	4		B	今後も国の制度により事業継続する。 ※「福祉支援事業」へ名称変更予定	0	0
	94	自立支援ホーム事業 01 03 01 01 02 94 軽量鉄骨造り二階建て、一室は６畳の居間・台所・浴室・	任意	1,611 2,935 2,935 2,797 1,917		8		B	B	B	B	8		終	今後も一時的に住宅に困窮した市民に住宅を提供する。 ※「福祉支援事業」へ統合予定	0	0
	95	災害見舞事業 01 03 01 01 02 95 全焼・全壊・流失・半焼・半壊・床上浸水・火災による部	任意	4,900 790 790 790 685		8		B	B	B	B	8		終	災害時迅速な対応ができるよう、適切に事業を継続する。 ※「福祉支援事業」へ統合予定	0	0
98	福祉企画事業　（福祉総務課）																
	88	地域福祉推進事業 01 03 01 97 98 88 ・福祉企画事務の遂行（戸田市福祉施策審議会等）	任意	1,730 8,133 8,133 8,133 10,340		8	○	B	B	B	B	8	○	終	地域共生社会実現に向けて取り組みを継続して進めていく。 ※「地域福祉推進事業」へ統合予定	0	0
98	プレミアム付商品券引換券発行事業　（福祉総務課）																
	98	プレミアム付商品券引換券発行事業 01 03 01 98 98 98 令和元年度住民税非課税者及び３歳以下の子が属する世帯	法定	34,553 1 0 0 0		9		－	－	－	－	9		終	事業としては令和元年度で終了。	0	0
01	災害救助費　（福祉総務課）																
	01	災害救助費 01 03 04 01 01 01 自然災害により死亡した住民の遺族に対し、災害弔慰金の	法定	0 5 5 3 137		1		－	－	－	－	1		予	災害救助法の規定に従い事業を行う。	5	3

戸田市　施策評価シート

作成日	令和 2年 6月25日	作成者名	秋元　幸子	評価者名	久川　理恵

５．事務事業の検討　【一般会計】

（単位：千円）

大事業	中事業	事務事業名 / 事業コード / 事業内容	事業区分	事務事業評価の結果 R1決算額 / R2予算額 / R3計画額	事業費 / うち一般財源 / 人件費	事業の方向性	実施計画候補	評価結果 施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性	★事務事業の方向性 事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度	コメント	R3予算額	事業費 / うち一般財源
01	災害援護資金貸付金　（福祉総務課）																
	01	災害援護資金貸付金 01 13 02 01 01 01 自然災害により、世帯主が負傷を負い、又は住居、家財等	法定	0 1 1 0 137		1		―	―	―	―	1		予	災害が発生した際に、迅速に事業を実施する。	1	0
07	社会福祉推進事業　（福祉保健センター）																
	01	社会福祉推進事業 01 03 01 01 07 01 ・地区民児協の指導と連絡調整・研修及び行事への参加・	任意	17,656 17,938 18,335 7,662 8,902		1		A	B	A	B	1		B	民生委員や保護司活動を支援することにより、市民の個別具体的な課題解消を図っていく。	18,335	7,387

計（千円）		R1決算額	R2予算額	R3計画額	R3予算額
	事業費	155,188	128,769	129,165	18,341
	うち一般財源	155,188	117,624	118,020	7,390

事業の方向性：１現状で継続　２拡大して継続　３縮小して継続　４他事業と統合　５休止　６その他見直し
７令和3年度で終了　８令和2年度で終了　９令和元年度で終了